

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

I 組織の状況について

Q1.問1平成30年1月15日時点における、貴組織の職員規模について伺います。(半角数字でご記入ください)

常勤職員数 人

		n	平均値	最小値	最大値
全体		29	3071.38	0.00	9999.00
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」 を回答した	12	601.75	11.00	1968.00
	「阻害要因は特 にない」 を回答していない	17	4814.65	0.00	9999.00

Q1.問1平成30年1月15日時点における、貴組織の職員規模について伺います。(半角数字でご記入ください)

常勤職員に占める女性職員比率(小数点第1位四捨五入) %

		n	平均値	最小値	最大値
全体		29	24.00	0.00	51.00
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」 を回答した	12	27.67	10.00	45.00
	「阻害要因は特 にない」 を回答していない	17	21.41	0.00	51.00

Q1.問1平成30年1月15日時点における、貴組織の職員規模について伺います。(半角数字でご記入ください)

常勤職員のうち、他機関からの出向者数 人

		n	平均値	最小値	最大値
全体		29	162.31	0.00	749.00
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」 を回答した	12	126.33	3.00	374.00
	「阻害要因は特 にない」 を回答していない	17	187.71	0.00	749.00

■クロス集計表(n%表) \* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q1.問1平成30年1月15日時点における、貴組織の職員規模について伺います。(半角数字でご記入ください)  
常勤職員のうち、本府省庁等勤務者数 人

	n	平均値	最小値	最大値
全体	29	1162.83	0.00	4755.00
「阻害要因は特にない」を回答した	12	464.67	5.00	1568.00
「阻害要因は特にない」を回答していない	17	1655.65	0.00	4755.00

II 女性活躍推進に対する意識・理解について

Q2.問2(公共主体としての役割からではなく、組織経営の観点から)貴組織にとって、なぜ女性活躍が必要だとお考えですか。組織トップが日ごろ発信している問題意識等にもっとも当てはまるもの一つだけ選択してください。  
SA

	n	来優秀な労働人口の減少への対応(将来の労働人口の採用し続けるため)	戦力と考えている人材の流出を防ぐため	将来的にも適切な人員配置を実現する	の対応、新たな価値の創出(多様な価値観の受け入れのため)	組織のリスク管理への適応能力を高めるため	その他:	特になし(法律で規定されているか)
全体	29 100.0	12 41.4	2 6.9	2 6.9	7 24.1	0 0.0	6 20.7	0 0.0
「阻害要因は特にない」を回答した	12 100.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0
	「阻害要因は特にない」を回答していない	17 100.0	9 52.9	0 0.0	1 5.9	4 23.5	0 0.0	3 17.6

Q3.問3女性活躍に関する取組(男女共同参画、働き方改革を含む。)についての方針や考えを、貴組織のトップから職員向けに、どのくらいの頻度で発信していますか。直近の1年間についてお答えください。  
SA

	n	0回	1回	4回	7回	1回以上
全体	29 100.0	0 0.0	25 86.2	3 10.3	0 0.0	0 0.0
「阻害要因は特にない」を回答した	12 100.0	0 0.0	10 83.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特にない」を回答していない	17 100.0	0 0.0	15 88.2	1 5.9	0 0.0

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q4-1.問4-1貴組織の行動計画の計画期間は何年間ですか。

SA

		n	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上
全体		29 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.3	21 72.4	5 17.2
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 91.7	1 8.3
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	10 58.8	4 23.5

Q4-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)

平成 年

		n	平均値	最小値	最大値
全体		29	32.90	32.00	33.00
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12	33.00	33.00	33.00
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17	32.82	32.00	33.00

Q4-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)

月

		n	平均値	最小値	最大値
全体		29	3.00	3.00	3.00
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12	3.00	3.00	3.00
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17	3.00	3.00	3.00

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q4-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)  
日まで

	n	平均値	最小値	最大値
全体	29	31.00	31.00	31.00
「阻害要因は特にない」を回答した	12	31.00	31.00	31.00
「阻害要因は特にない」を回答していない	17	31.00	31.00	31.00

Q5.問5貴組織の女性活躍推進にとって、阻害要因となっているものはありますか。当てはまるものを最大3つまで選んでください。(3つまで)

	n	知識の不足	組織の体制	必要のスキル	意識の向上	職場環境	女性の就業意欲	女性のキャリア意識	男性のキャリア意識	長時間労働	女性職員の受け入れ	自己啓発	女性が活躍しやすい環境	組織の体制	課題の解決	取組の成果	その他	阻害要因は特にない
全体	29	0.0	10.3	3.0	10.3	0.0	3.0	0.0	12.4	0.0	0.0	6.9	3.4	2.0	13.8	4.0	10.3	12.4
「阻害要因は特にない」を回答した	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0
「阻害要因は特にない」を回答していない	17	0.0	17.6	3.0	17.6	0.0	3.0	0.0	70.6	0.0	0.0	11.8	5.9	2.0	23.5	4.0	17.6	0.0

III 女性活躍に関する取組について

Q6.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもとと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)1.女性活躍推進法施行以前から取り組んでいたもの

	n	女性の就業意欲																
全体	29	72.4	58.6	72.4	69.0	69.0	65.5	51.7	41.4	37.9	19.0	65.5	20.7	3.4	10.3			
「阻害要因は特にない」を回答した	12	6.0	41.7	6.0	58.3	41.7	33.3	33.3	25.0	3.0	33.3	41.7	16.7	8.3	16.7			
「阻害要因は特にない」を回答していない	17	88.2	70.6	88.2	76.5	88.2	88.2	64.7	52.9	41.2	82.4	23.5	0.0	0.0	5.9			

■クロス集計表(n%表) \* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q6.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)2.事前に状況把握・課題分析したもの

MA

	n	女性職員の採用に関すること	業・職場風土に継続就す	女性職員の登用に理関	長時間労働の是正に	有給休暇の取得率向	男性職員の育児・介	職員の明場・復産休支明援け	女性職員の配置に關	支員間に対する制約があるア職	時間に対する制約があるア職	女性職員の評価に關	職比率を含む(女性管理)	女性職員の登用に理関	男女の賃金格差に關	その他:	いずれもしていない
全体	29 100.0	20 69.0	11 37.9	16 55.2	13 44.8	19 65.5	8 27.6	8 27.6	5 17.2	6 20.7	19 65.5	1 3.4	1 3.4	5 17.2			
「阻害要因は特でない」の回答有無	「阻害要因は特でない」を回答した	12 100.0	5 41.7	3 25.0	5 41.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	4 33.3	0 0.0	1 8.3	4 33.3		
	「阻害要因は特でない」を回答していない	17 100.0	15 88.2	8 47.1	11 64.7	10 58.8	14 82.4	7 41.2	7 41.2	5 29.4	5 29.4	15 88.2	1 5.9	0 0.0	1 5.9		

Q6.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)3.行動計画に数値目標を定めたもの

MA

	n	女性職員の採用に関すること	業・職場風土に継続就す	女性職員の登用に理関	長時間労働の是正に	有給休暇の取得率向	男性職員の育児・介	職員の明場・復産休支明援け	女性職員の配置に關	支員間に対する制約があるア職	時間に対する制約があるア職	女性職員の評価に關	職比率を含む(女性管理)	女性職員の登用に理関	男女の賃金格差に關	その他:	いずれもしていない
全体	29 100.0	24 82.8	0 0.0	3 10.3	18 62.1	28 96.6	1 3.4	2 6.9	0 0.0	0 0.0	23 79.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0			
「阻害要因は特でない」の回答有無	「阻害要因は特でない」を回答した	12 100.0	8 66.7	0 0.0	2 16.7	9 75.0	11 91.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0			
	「阻害要因は特でない」を回答していない	17 100.0	16 94.1	0 0.0	1 5.9	9 52.9	17 100.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	17 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0			

Q6.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)4.(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの

MA

	n	女性職員の採用に関すること	業・職場風土に継続就す	女性職員の登用に理関	長時間労働の是正に	有給休暇の取得率向	男性職員の育児・介	職員の明場・復産休支明援け	女性職員の配置に關	支員間に対する制約があるア職	時間に対する制約があるア職	女性職員の評価に關	職比率を含む(女性管理)	女性職員の登用に理関	男女の賃金格差に關	その他:	いずれもしていない
全体	29 100.0	15 51.7	0 0.0	2 6.9	11 37.9	16 55.2	0 0.0	2 6.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 51.7	0 0.0	0 0.0	2 6.9		
「阻害要因は特でない」の回答有無	「阻害要因は特でない」を回答した	12 100.0	5 41.7	0 0.0	2 16.7	6 50.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3		
	「阻害要因は特でない」を回答していない	17 100.0	10 58.8	0 0.0	0 0.0	5 29.4	10 58.8	0 0.0	2 11.8	0 0.0	0 0.0	11 64.7	0 0.0	0 0.0	1 5.9		

■クロス集計表(n%表) \* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q6.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)5.(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの

MA

		n	女性職員の採用に関すること	業・職場風土に継続就す	女性職員の賃金格差に關	長時間労働の是正に關	上給休暇の取得率向	有給休暇の取得率向	男性職員の育児・介	職員の明場・復産休支援	女性職員の配置に關	支員に対する制約がある職	女性職員の評価に關	職比率を含む(女性管理)	女性職員の登用に理	男女の賃金格差に關	その他	いずれもしていない
全体		29 100.0	21 72.4	0 0.0	1 3.4	9 31.0	17 58.6	0 0.0	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 44.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.4
「阻害要因は特にない」の回答有無	「阻害要因は特にない」を回答した	12 100.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	8 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特にない」を回答していない	17 100.0	15 88.2	0 0.0	1 5.9	6 35.3	9 52.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 52.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9

Q6.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)6.情報公表を行っているもの

MA

		n	女性職員の採用に関すること	業・職場風土に継続就す	女性職員の賃金格差に關	長時間労働の是正に關	上給休暇の取得率向	有給休暇の取得率向	男性職員の育児・介	職員の明場・復産休支援	女性職員の配置に關	支員に対する制約がある職	女性職員の評価に關	職比率を含む(女性管理)	女性職員の登用に理	男女の賃金格差に關	その他	いずれもしていない
全体		29 100.0	25 86.2	5 17.2	10 34.5	18 62.1	26 89.7	3 10.3	5 17.2	3 10.3	1 3.4	26 89.7	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
「阻害要因は特にない」の回答有無	「阻害要因は特にない」を回答した	12 100.0	8 66.7	2 16.7	3 25.0	8 66.7	9 75.0	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	9 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特にない」を回答していない	17 100.0	17 100.0	3 17.6	7 41.2	10 58.8	17 100.0	3 17.6	3 17.6	3 17.6	1 5.9	17 100.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

Q7.問7女性活躍推進法施行後、行動計画に基づく取組によって数字が伸びた・改善したと実感している事項は何ですか。該当する項目を選び、その内容を教えてください。(いくつでも)(記入例)採用を選択:女性の採用を増やすため、女子学生に対する採用活動に注力し

MA

		n	採用:	家庭継続就業(仕事と家)	長時間労働の改善:	教育職員の配置・育成・	評価・登用:	その他:	改善した事項はない
全体		29 100.0	12 41.4	12 41.4	10 34.5	4 13.8	8 27.6	7 24.1	2 6.9
「阻害要因は特にない」の回答有無	「阻害要因は特にない」を回答した	12 100.0	2 16.7	3 25.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	2 16.7
	「阻害要因は特にない」を回答していない	17 100.0	10 58.8	9 52.9	4 23.5	4 23.5	8 47.1	4 23.5	0 0.0

■クロス集計表(n%表) \* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q8.問8女性活躍に関する取組について、この3年間の取組を踏まえた上で、今後貴組織として最も力を入れて取り組むとしていることとその理由は何ですか。(いくつでも)(記入例)継続就業を選択:介護が必要な家族を抱える職員増が見込まれていることから、介護離職をMA

	n	採用:	継続就業(仕事と家庭の両立等):	長時間労働の改善:	教育訓練の配置・育成:	評価・登用:	その他:	力を入れない取組は	
全体	29 100.0	7 24.1	14 48.3	13 44.8	8 27.6	7 24.1	5 17.2	1 3.4	
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12 100.0	2 16.7	6 50.0	4 33.3	0 0.0	2 16.7	2 16.7	1 8.3
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17 100.0	5 29.4	8 47.1	9 52.9	8 47.1	5 29.4	3 17.6	0 0.0

Q9-1.問9-1女性活躍に関する取組について、今後取り組みたいと考えているが、取り掛かりが難しい取組はありますか。(いくつでも)

	n	採用:	継続就業(仕事と家庭の両立等):	長時間労働の改善:	教育訓練の配置・育成:	評価・登用:	その他:	特異な取組	
全体	29 100.0	2 6.9	0 0.0	16 55.2	3 10.3	4 13.8	3 10.3	7 24.1	
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12 100.0	1 8.3	0 0.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	6 50.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17 100.0	1 5.9	0 0.0	13 76.5	2 11.8	4 23.5	2 11.8	1 5.9

Q10.問10取組の進捗状況を把握し、次の取組につなげるため、毎年度状況を把握している項目はありますか。(いくつでも)

	n	女性の採用割合	採用試験の受験者の女性割合	全職員に占める女性職員の割合	局や課室ごとの女性職員の割合(女性職員の配置の偏り)	平均継続勤務率の男女差(又は離職率の男女差)	採用3年目までの職員(定着率)の男女別割合	約10年前に採用した職員の男女別割合	超過勤務時間	職員一人当たりの一月当たり	長時間労働が常態化している	長時間労働が常態化している	管理職の超過勤務状況	管理職に占める女性職員の割合	管理職に昇進した者の男女別	管理職の取得率	男性職員の育児休業・配偶者	年次休暇取得率	柔軟な働き方を可能とする制度等)の利用状況	中途採用の男女別実績	女性活躍推進に関する職員の意識	その他:	特になし
全体	29 100.0	25 86.2	10 34.5	24 82.8	5 17.2	9 31.0	2 6.9	3 10.3	19 65.5	11 37.9	12 41.4	2 6.9	23 79.3	4 13.8	28 96.6	22 75.9	16 55.2	7 24.1	1 3.4	1 3.4	0 0.0		
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12 100.0	8 66.7	3 25.0	9 75.0	2 16.7	5 41.7	0 0.0	1 8.3	7 58.3	4 33.3	5 41.7	1 8.3	7 58.3	0 0.0	11 91.7	10 83.3	5 41.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17 100.0	17 100.0	7 41.2	15 88.2	3 17.6	4 23.5	2 11.8	2 11.8	12 70.6	7 41.2	7 41.2	1 5.9	16 94.1	4 23.5	17 100.0	12 70.6	11 64.7	5 29.4	1 5.9	1 5.9	0 0.0	

■クロス集計表(n%表) \* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

IV 行動計画の職員への周知について

Q11.問11職員に行動計画を周知させるために行っていることは何ですか。(いくつでも)

MA

		n	て行動 メー ル 画 で の 策 定 に 周 知 い	にの メ ー ル に 画 に 基 づ き 職 員 に 定 く 周 知 的 組	e の 機 会 を 活 用 し た 周 知 研 修	職 場 内 掲 示 板 へ の 掲 載	ホ ー ム ペ ー ジ へ の 掲 載	広 報 誌 へ の 掲 載	行 動 計 画 の 改 善 点 に つ い て の 意 見 募 集	認 知 度 を 検 証 す る た め の ア ン ケ ー ト の 実 施	そ の 他 :	特 に な し
全体		29 100.0	11 37.9	7 24.1	7 24.1	18 62.1	28 96.6	1 3.4	0 0.0	1 3.4	1 3.4	0 0.0
「阻害要因は 特でない」の 回答有無	「阻害要因は特でない」 を回答した	12 100.0	4 33.3	3 25.0	1 8.3	6 50.0	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0
	「阻害要因は特でない」 を回答していない	17 100.0	7 41.2	4 23.5	6 35.3	12 70.6	16 94.1	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0

V 女性活躍のための取組を推進するための体制について

Q12.問12貴組織の行動計画に基づく取組の実施状況の公表や、取組の振り返りのために行っている取組として当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

MA

		n	し項 取 組 の 検 証 ・ 分 析 に 必 ず 最 新 と 判 断 を 把 握 し	化調 員 を 対 象 と し 、 職 員 の 意 見 を 聴 取 す	約の 各 取 組 局 課 を 調 査 、 情 報 の 個 別	そ の 他 :	特 に な し
全体		29 100.0	27 93.1	4 13.8	5 17.2	1 3.4	2 6.9
「阻害要因は 特でない」の 回答有無	「阻害要因は特でない」 を回答した	12 100.0	11 91.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3
	「阻害要因は特でない」 を回答していない	17 100.0	16 94.1	3 17.6	3 17.6	0 0.0	1 5.9

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q13.問13現在の取組の実施・推進体制について、予定も含めて、当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

		n	女性職員活躍推進に係る担当課を設ける	人事担当課等に、女性職員活躍推進に係る担当課を設ける	女性職員の活躍推進に関する取組の進捗状況等を点検・検証し、改善策等を講ずる	女性職員の昇進意欲の向上	男性職員の家事・育児への参加意欲の向上	超過勤務時間の縮減	底層業務の女性活躍状況の見える化	各事業主の女性活躍状況の公表	率超過勤務の状況等による可視化、ランキング付け	女性活躍を推進するための部署の設置	女性活躍を担当する担当者の熱意	法令等による強制力	第三者の視点が入った取組の検証体制の整備	効率的に組織の実情に沿った課題を把握するためのシステム(マニュアル)	柔軟な働き方に関する制度(テレワーク、フレックスタイム制度等)の更なる柔軟な運用	トップダウンで行う大幅な業務効率化	職場のペーパーレス化	職員一人一人の生産性を高める意識	その他	特になし
全体		29 100.0	2 6.9	13 44.8	15 51.7	0 0.0	5 17.2	2 6.9	1 3.4	3 10.3	1 3.4	2 6.9	5 17.2	2 6.9	2 6.9	2 6.9	2 6.9	2 6.9	2 6.9	2 6.9	2 6.9	5 17.2
「阻害要因は特になし」を回答した 回答有無	「阻害要因は特になし」を回答した	12 100.0	0 0.0	4 33.3	5 41.7	0 0.0	2 16.7	1 8.3	3 25.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0
	「阻害要因は特になし」を回答していない	17 100.0	2 11.8	9 52.9	10 58.8	0 0.0	3 17.6	1 5.9	2 11.8	1 5.9	1 5.9	3 17.6	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8

Q14.問14貴組織において、さらに女性活躍の取組を推進するために必要と考えるものを選択してください。(3つまで)

		n	女性活躍推進に係る組織トップの強い意思、実行力	女性活躍推進に係る管理職の強い意思、実行力	女性活躍の必要性についての職員の理解・協力	女性職員の仕事に対する意欲の向上	女性職員の昇進意欲の向上	男性職員の家事・育児への参加意欲の向上	超過勤務時間の縮減	底層業務の女性活躍状況の見える化	各事業主の女性活躍状況の公表	率超過勤務の状況等による可視化、ランキング付け	女性活躍を推進するための部署の設置	女性活躍を担当する担当者の熱意	法令等による強制力	第三者の視点が入った取組の検証体制の整備	効率的に組織の実情に沿った課題を把握するためのシステム(マニュアル)	柔軟な働き方に関する制度(テレワーク、フレックスタイム制度等)の更なる柔軟な運用	トップダウンで行う大幅な業務効率化	職場のペーパーレス化	職員一人一人の生産性を高める意識	その他	特になし
全体		29 100.0	5 17.2	10 34.5	8 27.6	2 6.9	4 13.8	6 20.7	17 58.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 41.4	3 10.3	1 3.4	3 10.3	3 10.3	2 6.9
「阻害要因は特になし」を回答した 回答有無	「阻害要因は特になし」を回答した	12 100.0	3 25.0	5 41.7	4 33.3	2 16.7	2 16.7	3 25.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 16.7
	「阻害要因は特になし」を回答していない	17 100.0	2 11.8	5 29.4	4 23.5	0 0.0	2 11.8	3 17.6	13 76.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 58.8	2 11.8	1 5.9	3 17.6	3 17.6	0 0.0



■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q16.問16女性活躍の取組を引き続き推進することで、今後どのような効果が期待できると感じていますか。(いくつでも)

MA

		n	その他 :	は特 に期 待で きる 効果
全体		29 100.0	0 0.0	0 0.0
「阻害要因は 特にならない」の 回答有無	「阻害要因は特にならない」 を回答した	12 100.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特にならない」 を回答していない	17 100.0	0 0.0	0 0.0

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q18.問18本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。ここ数年(過去5年間程度)で、常勤の若手職員(採用3~4年程度・男女限らず)が多く(3名以上など)退職している部局がありますか。

SA

		n	ある	ない	把握できている部局が
全体		29 100.0	8 27.6	20 69.0	1 3.4
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12 100.0	2 16.7	10 83.3	0 0.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17 100.0	6 35.3	10 58.8	1 5.9

Q19.問19本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。女性の常勤職員の割合が、相対的に多い部局はありますか。(職員に占める女性割合は3割なのに、その部局は4割以上を女性が占めている、など)

SA

		n	ある	ない	な勤部 ない職員 ごとの 把女性 握性 での き常
全体		29 100.0	20 69.0	7 24.1	2 6.9
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12 100.0	6 50.0	5 41.7	1 8.3
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17 100.0	14 82.4	2 11.8	1 5.9

Q20.問20本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。常勤職員のうち、育児休業から復帰直後の職員、時短勤務制度を利用している職員の割合が、他部局に比べて相対的に多い部局はありますか。(だいたい0~2人なのに、その部局は5人以上配属されている、な

SA

		n	ある	ない	数部 が局 把ご 握と での き対 象な い職 員
全体		29 100.0	10 34.5	15 51.7	4 13.8
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12 100.0	2 16.7	10 83.3	0 0.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17 100.0	8 47.1	5 29.4	4 23.5

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q21.問21本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。直近3か月連続で、1か月の超過勤務時間が80時間を超える常勤職員がいる部局がありますか。

SA

		n	ある	ない	を時超 把間過 握を勤 で務超 できえ なる時 間が ない職 員8 数0
全体		29 100.0	17 58.6	9 31.0	3 10.3
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」 を回答した	12 100.0	6 50.0	6 50.0	0 0.0
	「阻害要因は特 にない」 を回答していない	17 100.0	11 64.7	3 17.6	3 17.6

Q22.問22本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。問18(若手離職多数)該当部局は問21(超過勤務時間多)該当部局とどの程度重複しますか。

SA

		n	(す べ て 0 重 複 す る %)	(ほ と 9 ん ど 7 重 複 す る %)	(あ る 9 程 度 4 重 複 す る %)	(あ ま り 9 り 重 複 し ない %)	(ほ と ん ど 1 重 複 し ない %)	(全 く 0 重 複 し ない %)
全体		6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」 を回答した	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特 にない」 を回答していない	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0

Q23.問23本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。問19(女性職員多数)該当部局は問21(超過勤務時間多)該当部局とどの程度重複しますか。

SA

		n	(す べ て 0 重 複 す る %)	(ほ と 9 ん ど 7 重 複 す る %)	(あ る 9 程 度 4 重 複 す る %)	(あ ま り 9 り 重 複 し ない %)	(ほ と ん ど 1 重 複 し ない %)	(全 く 0 重 複 し ない %)
全体		13 100.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	6 46.2	0 0.0	6 46.2
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」 を回答した	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7
	「阻害要因は特 にない」 を回答していない	10 100.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0	4 40.0

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q24.問24本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。問20(育休・時短職員多数)該当部局は問21(超過勤務時間多)該当部局との程度重複しますか。

SA

		n	(すべて0%重複する)	(ほとんど9%重複する)	(ある程度6%重複する)	(あまり9%重複しない)	(ほとんど9%重複しない)	(全く0%重複しない)
全体		8	0	0	1	3	2	2
		100.0	0.0	0.0	12.5	37.5	25.0	25.0
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	1	0	0	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	7	0	0	1	3	2	1
		100.0	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3

Q25.問25本府省庁等を対象に、部局単位でお答えください。女性管理職が1人以上いる部局は問21(超過勤務時間多)該当部局との程度重複しますか。

SA

		n	(すべて0%重複する)	(ほとんど9%重複する)	(ある程度6%重複する)	(あまり9%重複しない)	(ほとんど9%重複しない)	(全く0%重複しない)
全体		17	0	0	1	11	2	3
		100.0	0.0	0.0	5.9	64.7	11.8	17.6
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	6	0	0	0	3	1	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	33.3
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	11	0	0	1	8	1	1
		100.0	0.0	0.0	9.1	72.7	9.1	9.1

「問4-2(行動計画の終期)」

SA

		n	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
全体		29	0	0	3	26	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	10.3	89.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答した	12	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	17	0	0	3	14	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	17.6	82.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■クロス集計表(n%表)

\* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

「阻害要因は特にない」の回答有無

SA

		n	い「阻害要因は特にない」を回答した	いい「阻害要因は特にない」を回答していない
全体		29 100.0	12 41.4	17 58.6
「阻害要因は特にない」の回答有無	「阻害要因は特にない」を回答した	12 100.0	12 100.0	0 0.0
	「阻害要因は特にない」を回答していない	17 100.0	0 0.0	17 100.0